

高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第7週 （2月15日～2月21日）

★お知らせ

○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関からの報告数は、第6週の23.92から第7週では33.25と増加し、今年初めて高知県全域で警報値である30.0を超えました。全ての地域で増加し、県全域及び須崎、高知市、中央西、幡多では警報値を超え、中央東では注意報値を超えています。迅速検査ではインフルエンザA型64%、B型36%となっており、B型の割合が増加しています。

学校等における集団発生		※感染症情報収集システム					
保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多
休校	第3週				1		
	累計			2	1		
学年閉鎖	第3週				2	3	3
	累計		1	1	2	5	3
学級閉鎖	第3週			6	2		
	累計		1	16	2		1

病原体検出情報ではInfluenza virus A H1pdm09 11例、Influenza virus B 2例が検出されています。インフルエンザ予防のため、外出後の手洗いや適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取に努めてくださるようお願いします。

また、インフルエンザにかかったら早めに医療機関を受診し、咳やくしゃみ等の症状があるときは、周りの方へうつさないよう不織布製マスクを着用しましょう。また、人混みや繁華街への外出を控えましょう。

【咳エチケット】

- 1 普段から皆が咳やくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- 2 咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- 3 手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

※厚生労働省インフルエンザ 総合対策（外部サイトへリンク）

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/infuleenza/index.html

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第6週の2.63から第7週では3.30と増加しています。幡多、高知市、安芸で増加し、幡多では注意報値を超え警報値の8.0に近づいています。高知県では過去2年間の同時期と比較して高い値が続いており、引き続き注意が必要です。

通常、患者との接触を介して伝播するため、ヒトとヒトとの接触の機会が増加するときに起こりやすく、家庭、学校などの集団での感染も多くなります。乳幼児では咽頭炎、年長児や成人特に妊婦では扁桃炎が現れ重症化することもあるため、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第6週の0.10から第7週では0.07となっていますが、高知市では注意報値を超えています。

患者の咳やくしゃみ、唾などのしぶきに含まれている百日咳菌を吸い込むことによって感染しますので、「咳エチケット」に心がけてください。

百日咳は世界的に見られる疾患で、いずれの年齢でもかかりますが、小児が中心となります。また、重症化しやすく、死亡者の大半を占めるのは1歳未満の乳児、ことに生後6カ月未満の乳児です。

予防にはワクチンが有効です。予防接種法の対象疾病となっていますので、対象年齢の方は積極的に接種を受けましょう。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第6週の5.70から第7週では5.37とほぼ横ばいですが、須崎、中央西、中央東で増加しています。定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルスが2例、ロタウイルスが27例報告され、また基幹定点からの感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）が11例報告されています。

ウイルスや細菌など多種多様な病原体による感染症です。冬から春に多発する感染性胃腸炎のほとんどはウイルスによるもので、11月から3月にかけてはノロウイルスによるものが主に流行し、3月から5月にかけてはロタウイルスによるものが多くなります。高知県でもロタウイルス感染症の報告数が増えてきています。感染予防対策の徹底に努めましょう。

【感染予防対策】

- ・排便後、患者の看病や介護後、調理の前、食事の前、帰宅時などに手を洗いましょう。
- ・吐物を処理する際には、使い捨ての手袋、マスク、エプロンを着用し、汚染された場所を消毒しましょう。
- ・二枚貝などの食品は、中心温度が85℃から90℃で90秒以上加熱しましょう。
- ・タオルは、患者との共用を避けましょう。
- ・症状がある方は、食品の調理をできるだけ控えましょう。

●高知県ノロウイルス対策マニュアル

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

●厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

○ダニが媒介する感染症（日本紅斑熱・SFTS）に気を付けて！

ウイルスやリケッチアなどの病原体を保有するマダニに刺されることで感染する「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」「日本紅斑熱」が県内で今年に入りSFTSは2例、日本紅斑熱2例が報告されています。

マダニの活動が盛んな時期は春から秋ですが、今回のように冬でも患者の発生が見られることがあります。

農作業や庭仕事、レジャーなど野外で活動する際には、長袖、長ズボンなどを着用して皮膚の露出を避けましょう。また、咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、医療機関を受診してください。

マダニ対策、今できること（国立感染症研究所）

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/sfts/2287-ent/3964-madanitaisaku.html>

ダニが媒介する感染症（高知県衛生研究所）

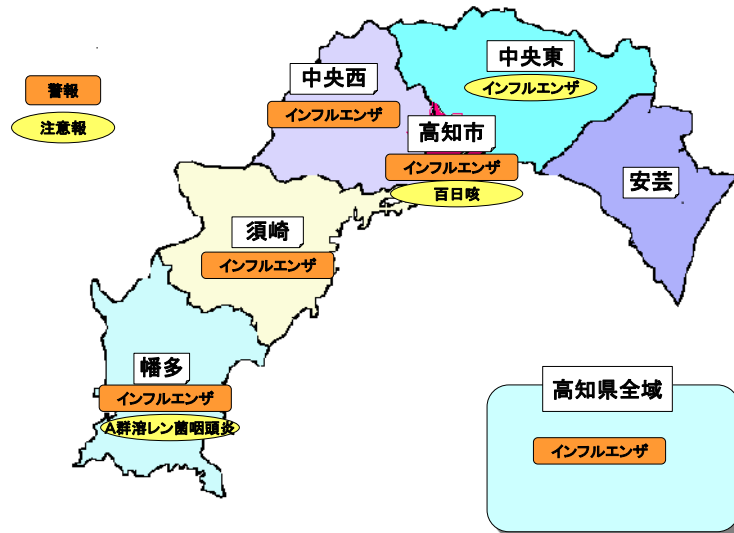
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ：急増 ：増加 ：横ばい ：減少 ：急減
7週（2月15日～2月21日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ		33.25	県全域及び須崎、高知市、中央西、幡多では警報値を超え、中央東では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎		5.37	須崎、中央西、中央東で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		3.30	幡多、高知市、安芸で増加し、幡多では注意報値を超えています。
RSウイルス感染症		1.90	高知市、安芸、幡多で増加しています。
流行性耳下腺炎		0.47	中央西で増加しています。

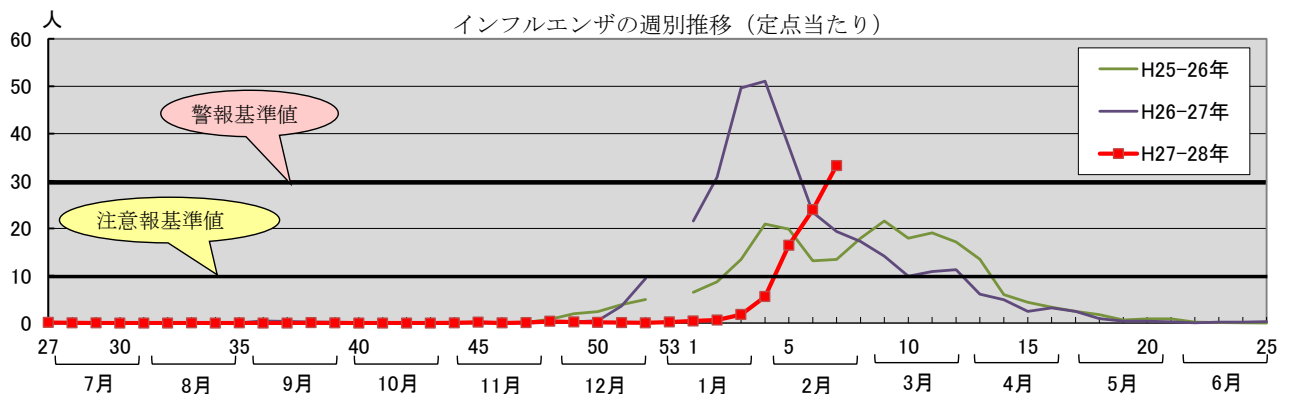
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

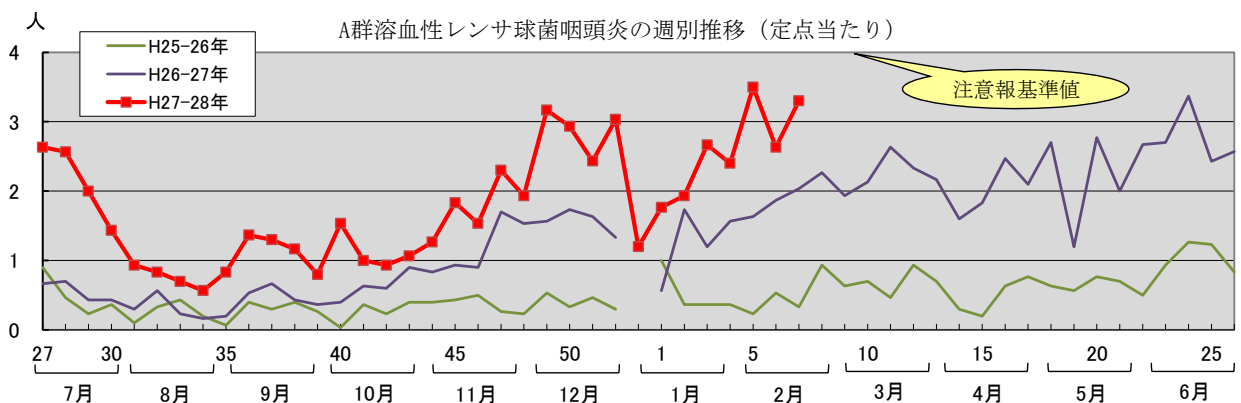
○インフルエンザ 第7週：33.25（注意報値：10.00 警報値：30.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 33.25（前週 23.92）と増加しています。地域別にみると、須崎 48.75（前週 33.00）、高知市 41.50（前週 32.75）、中央西 38.20（前週 22.60）、幡多 30.00（前週 17.88）、中央東 25.27（前週 19.55）、安芸 7.00（前週 5.25）で増加しています。また、県全域及び須崎、高知市、中央西、幡多では警報値を超え、中央東では注意報値を超えています。



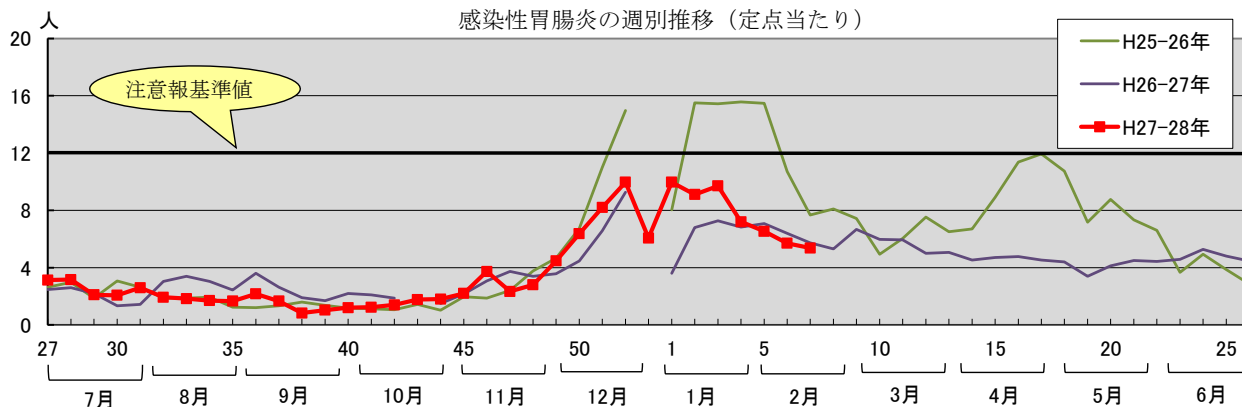
○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第7週：3.30（注意報値：4.00 警報値：8.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.30（前週 2.63）と増加しています。地域別にみると、幡多 7.60（前週 4.20）、高知市 3.91（3.09）、安芸 1.50（1.00）で増加し、幡多では注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎 第7週：5.37 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 5.37 (前週：5.70) とほぼ横ばいです。地域別にみると、須崎 7.50 (前週 4.50)、中央西 7.33 (前週 5.00)、中央東 6.29 (前週 5.86) で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、今週よりグラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H25-H26年とH26-H27年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
7	インフルエンザ	10	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
7	インフルエンザ	6	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
7	インフルエンザ	16	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
7	インフルエンザ	48	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
7	インフルエンザ	30	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
7	インフルエンザ	33	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
7	インフルエンザ	27	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
7	インフルエンザ	56	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
7	インフルエンザ	51	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
7	インフルエンザ	43	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
7	インフルエンザ	13	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
7	インフルエンザ	56	女	須崎	Influenza virus B/Yamagata
7	インフルエンザ	11	男	須崎	Influenza virus B/Yamagata
7	マイコプラズマ	8	女	中央東	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
6	ヘルパンギーナ	3	女	須崎	Coxsackievirus A10

★全数把握感染症

第7週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	13	90歳女	中央東
		1	14	20歳男	須崎
4類	日本紅斑熱	1	2	80歳男	安芸
5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	3	60歳男	高知市
	後天性免疫不全症候群	1	2	60歳男	高知市

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報	
安芸	田野病院小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症1例(2歳男) マイコプラズマ肺炎2例(10ヶ月女、6歳女)	
中央東	あけぼのクリニック	インフルエンザA型31例 B型16例 マイコプラズマ肺炎2例(6歳男、8歳女) アデノウイルス感染症2例(1歳女、2歳女) ロタウイルス胃腸炎3例(1歳女2人、2歳女) RSウイルス感染症7例	
		野市中央病院小児科	インフルエンザA型6例 (ワクチン接種済み2例:3歳女、12歳男) ワクチン未接種4例:5歳男女、7歳男、11歳男) インフルエンザB型1例(14歳女:ワクチン接種済み) ロタウイルス(+)2例(1歳男:ワクチン接種済み、1歳女) 病原性大腸菌o-86aベロ毒素(-)1例(1歳男)
			早明浦病院小児科
	高知市	けら小児科・アレルギー科	ノロウイルス腸炎1例(73歳女) ロタウイルス腸炎4例(2歳女、5歳男、7歳男、35歳女) 百日咳2例(5歳男:PT-IgG147EU/ml以上、 7歳女:PT-IgG120EU/ml以上、DPT4回すみ 姉弟)
			ふないキッズクリニック 細木病院小児科
		福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症とインフルエンザ同時感染4例(6歳女、7歳女、9歳男2人) 溶連菌感染症15例 インフルエンザA型44例 インフルエンザB型10例 予防接種済7例 流行性耳下腺炎3例
高知医療センター小児科			RSウイルス感染症7例(1ヶ月男2人、1ヶ月女、5ヶ月男、8ヶ月男、1歳女2人) ノロウイルス1例(3歳女) ロタウイルス1例(2歳男) 病原性大腸菌5例(0ヶ月男2人、1ヶ月女、14歳女、15歳男)
中央西		石黒小児科	流行性耳下腺炎2例(5歳男女:ムンプスワクチン1回済み) 水痘1例(1歳女:水痘ワクチン1回済み) 帯状疱疹2例(8歳男、10歳女)
		くぼたこどもクリニック	感染性胃腸炎1例(2歳男:いの町)
須崎	もりはた小児科	アデノウイルス扁桃炎1例(8ヶ月男) マイコプラズマ肺炎2例(6歳女、13歳女) 感染性胃腸炎ロタ6例 インフルエンザ114例 A型89例 B型25例 17例ワクチン済み	
		幡多けんみん病院小児科	ロタウイルス陽性6例
		幡多	さたけ小児科

■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

ジカウイルス感染症が、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第6条第5項第11号の規定により政令で定められ、全数報告の対象となる四類感染症に追加されました。診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることが定められています。届出様式等については、厚生労働省ホームページに掲載されました。

●ジカウイルス感染症 定義(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-44.html>

●ジカウイルス感染症 発生届様式(PDF)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf>

●ジカウイルス感染症について(厚生労働省)(ジカウイルス感染症に関するQ&A、流行地域など)

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

※最新情報に関しては、FORTH/厚生労働省検疫所ホームページよりご確認ください。

<http://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/2016/01190956.html>

★全国情報

第5週(2月1日~2月7日)

1類感染症:報告なし

2類感染症:結核336例

3類感染症:細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症5例、腸チフス1例

4類感染症:E型肝炎7例、A型肝炎5例、エキノコックス症1例、デング熱6例、マラリア1例、レジオネラ症20例

5類感染症:アメーバ赤痢13例、ウイルス性肝炎1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症14例、急性脳炎19例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症12例、後天性免疫不全症候群13例、侵襲性インフルエンザ菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症37例、水痘(入院例に限る)2例、梅毒38例、播種性クリプトコックス症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん1例

報告遅れ：腸チフス1例、E型肝炎3例、デング熱1例、レジオネラ症3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症8例、急性脳炎13例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、水痘（入院例に限る）3例、梅毒27例、播種性クリプトコックス症1例、風しん1例、薬剤耐性アシネトバクター感染症2例

高知県感染症情報(58定点医療機関)

定点名	疾病名	保健所	第7週 平成28年2月15日(月)～平成28年2月21日(日)							高知県衛生研究所			
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(6週)	高知県(7週末累計) H28/1/4～H28/2/21	全国(6週末累計) H28/1/4～H28/2/14
インフルエンザ	インフルエンザ		28	278	664	191	195	240	1,596 (33.25)	1,148 (23.92)	197,956 (39.97)	3,938 (82.04)	565,006 (114.10)
小児科	咽頭結核熱								()	3 (0.10)	1,161 (0.37)	18 (0.60)	7,780 (2.46)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	8	43	6	1	38	99 (3.30)	79 (2.63)	10,448 (3.31)	546 (18.20)	56,415 (17.87)	
	感染性胃腸炎	4	44	58	22	15	18	161 (5.37)	171 (5.70)	21,214 (6.72)	1,607 (53.57)	144,160 (45.66)	
	水痘				2	1	1	4 (0.13)	5 (0.17)	1,166 (0.37)	58 (1.93)	9,409 (2.98)	
	手足口病							()	2 (0.07)	95 (0.03)	6 (0.20)	783 (0.25)	
	伝染性紅斑		2	2	1			5 (0.17)	4 (0.13)	1,647 (0.52)	45 (1.50)	13,511 (4.28)	
	突発性発疹			4	2			6 (0.20)	14 (0.47)	1,117 (0.35)	65 (2.17)	7,508 (2.38)	
	百日咳			2				2 (0.07)	3 (0.10)	40 (0.12)	10 (0.33)	251 (0.08)	
	ヘルパンギーナ							()	()	34 (0.01)	2 (0.07)	297 (0.09)	
	流行性耳下腺炎		1	7	5	1		14 (0.47)	20 (0.67)	2,312 (0.73)	134 (4.47)	16,080 (5.09)	
	RSウイルス感染症	3	12	32	3	1	6	57 (1.90)	58 (1.93)	1,308 (0.41)	312 (10.40)	13,042 (4.13)	
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	5 (0.01)	()	46 (0.07)	
	流行性角結膜炎							()	()	422 (0.61)	2 (0.67)	3,056 (4.45)	
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	7 (0.01)	()	44 (0.09)	
	無菌性髄膜炎							()	()	15 (0.03)	2 (0.25)	102 (0.22)	
	マイコプラズマ肺炎		1	3				4 (0.50)	5 (0.63)	228 (0.48)	40 (5.00)	1,810 (3.82)	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1				1 (0.13)	3 (0.38)	12 (0.03)	14 (1.75)	60 (0.13)	
	感染性胃腸炎			5			6	11 (1.38)	16 (2.00)	219 (0.46)	66 (8.25)	764 (1.61)	
計 (小児科定点当たり人数)	38 (12.00)	346 (34.84)	821 (54.95)	232 (51.87)	214 (58.25)	309 (42.60)	1,960 (44.86)			239,406	6,865 (175.48)	840,124	
前週 (小児科定点当たり人数)	29 (9.25)	288 (29.97)	712 (48.10)	158 (37.60)	149 (41.50)	195 (27.28)		1,515 (35.89)					

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(58定点医療機関)定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第7週							前週	全国(6週)	高知県(7週末累計) H28/1/4～H28/2/21	全国(6週末累計) H28/1/4～H28/2/14
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計				
インフルエンザ	インフルエンザ		7.00	25.27	41.50	38.20	48.75	30.00	33.25	23.92	39.97	82.04	114.10
小児科	咽頭結核熱									0.10	0.37	0.60	2.46
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.50	1.14	3.91	2.00	0.50	7.60	3.30	2.63	3.31	18.20	17.87	
	感染性胃腸炎	2.00	6.29	5.27	7.33	7.50	3.60	5.37	5.70	6.72	53.57	45.66	
	水痘				0.67	0.50	0.20	0.13	0.17	0.37	1.93	2.98	
	手足口病								0.07	0.03	0.20	0.25	
	伝染性紅斑		0.29	0.18	0.33			0.17	0.13	0.52	1.50	4.28	
	突発性発疹			0.36	0.67			0.20	0.47	0.35	2.17	2.38	
	百日咳			0.18				0.07	0.10	0.01	0.33	0.08	
	ヘルパンギーナ									0.01	0.07	0.09	
	流行性耳下腺炎		0.14	0.64	1.67	0.50		0.47	0.67	0.73	4.47	5.09	
	RSウイルス感染症	1.50	1.71	2.91	1.00	0.50	1.20	1.90	1.93	0.41	10.40	4.13	
眼科	急性出血性結膜炎									0.01		0.07	
	流行性角結膜炎									0.61	0.67	4.45	
基幹	細菌性髄膜炎									0.01		0.09	
	無菌性髄膜炎									0.03	0.25	0.22	
	マイコプラズマ肺炎		1.00	0.60				0.50	0.63	0.48	5.00	3.82	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			0.20				0.13	0.38	0.03	1.75	0.13	
	感染性胃腸炎			1.00			6.00	1.38	2.00	0.46	8.25	1.61	
計 (小児科定点当たり人数)	12.00	34.84	54.95	51.87	58.25	42.60	44.86				175.48		
前週 (小児科定点当たり人数)	9.25	29.97	48.10	37.60	41.50	27.28		35.89					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869